

作成日：2025 年 10 月 25 日

ユニファイドチャンピオンスクール認定@駒ヶ根市立中沢小学校



このたび、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本（SON）は、スペシャルオリンピックス（SO）国際本部が定める要件に基づき、長野県駒ヶ根市立中沢小学校を、日本で初めてとなる「ユニファイドチャンピオンスクール（Unified Champion School）」として認定いたしました。

【ユニファイドチャンピオンスクール認定要件】

- ①ユニファイドスポーツ®を行っていること
- ②知的障害の有無にかかわらず、児童がリーダーとなって SO やユニファイドスポーツ®の活動を全校に発信していること
- ③学校全体の取り組みであること

中沢小学校が上記①～③の要件を全て満たしたことから、10月17日（金）に同校体育館にて認定式を実施し、SON ドリームサポーターの小塚崇彦さんが認定状と横断幕を授与いたしました。



当日は、これまで2年間に渡りSOの学習をしてきた5年生の代表2名と、同校に教室のある伊那養護学校はなももの里分教室の代表2名が、SON・長野のコーチで同校のPTAでもある小林さんと共に、全校及び保護者の方々に向け、SOやユニファイドスポーツ®についての発表を行いました。



認定式後は、中沢小学校PTA主催のフロアボール体験会を実施し、全校児童と、はなももの里分教室の児童、保護者や先生方合わせて約140人が一緒にひとつのボールを追いかけて、障害の有無にかかわらず、ユニファイドスポーツ®フロアボールを楽しみました。



中沢小学校では2023年度から毎年3・4年生がユニファイドスクールに参加し、授業でSOやユニファイドスポーツ®について学んでいます。また、校内に教室のある長野県伊那養護学校はなももの里分教室の児童と合同で、体育の授業でユニファイドスポーツ®フロアボールに取り組み、障害の有無にかかわらず、みんなでスポーツを楽しむ工夫を考える活動を通して、お互いの理解を深め、支え合う関係を築いてきました。

〈参加者からの声〉

■保護者

「障害の有無にかかわらず、何でも一緒に取り組むというのは、中沢小学校では当たり前。ユニファイドチャンピオンスクールに認定されたことによって、中沢小学校での当たり前が全国に広まるといい。」

「数年前からユニファイドスクールの取り組みをしていることは知っていた。せっかくの良い取り組みなので、保護者にも知ってもらえたらと思い、今回の全校児童と保護者が参加する PTA 主催のイベントで、ユニファイドスポーツ®であるフロアボールを実施した。障害や年齢に関係なく、みんなが楽しんでいる姿が見られて良かった。」

■先生

「ユニファイドスクールに取り組む以前から、中沢小学校でははなももの里分教室の児童と行事等を一緒にやるのが当たり前だったが、ユニファイドスクールに参加してから、体育の授業も一緒に行えることを知った。児童たちが一緒に取り組む機会が増え、ユニファイドスクールに参加して良かったと思う。」

■児童

「みんなで一緒にやるのが楽しい。」

「日本で最初の認定を受けることができてうれしい。フロアボールは誰でも楽しめるスポーツ。多くの人に知ってもらいたい。」

「特別なことをしているわけではないけれど、みんなで一緒に『チャンピオン』になれて嬉しい。」



SON は、2021 年より、段階的に全国各地の小学校との連携を進め、10 時間以上から成る「ユニファイドスクール授業構成モデル」を開発し、展開しています。

これからもこのユニファイドスクールの取り組みをより多くの小学校で実施するとともに、中沢小学校のようなユニファイドチャンピオンスクールの認定を進め、多様な人々が生きるインクルージョン社会の実現を目指します。

【ユニファイドスクールとは】

小学校から大学までの学校と連携し、ユニファイドスポーツ® (Unified Sports®) の機会を学生や学校関係者に提供することで、スポーツを通じて知的障害のある人となない人が、お互いの理解を深めること、またその結果として社会的インクルージョンを促進させることを目的として立ち上げた取り組みです。